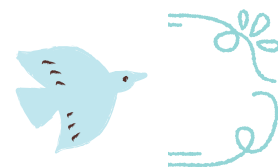


2018(平成30)年度 第13期 短期インターンシップ事業報告



【目的】大学生を対象に、センター業務の就業体験を通じて、それぞれのライフイベントとも関連してくる職業生活の実情を知り、性別にとらわれることなくライフキャリア形成の見通しを立てることができるようになることを目的とする。

【日時】平成30(2018)年8月30日(木)～9月15日(土)のうち10日間
各日9時30分～16時00分

ただし、臨時として、9/3、9/9、9/10も開催し、延べ11名(女性7名、男性4名)が参加した。

【実施場所】川崎市男女共同参画センター、各取材場所等

【対象】大学2年生以上14名(男性:3名、女性:11名)

【募集・選考】6月～7月中旬:募集開始、書類審査及び面談/7月下旬:参加者の決定

【協力者】

- ・池田千恵美氏(キャリアコンサルタント)
- ・阪口さゆみ氏(世田谷区立男女共同参画センター らぷらす ディレクター)
- ・須田万里子氏(一般社団法人キャリアコンサルティング振興協会)
- ・中村立子氏(首都大学東京客員研究員)
- ・藤井光子氏(川崎の男女共同社会をすすめる会)
- ・山田武彦氏(地元在住:愛称タックさん)
- ・杉目待子氏(川崎の男女共同社会をすすめる会)
- ・郷原正氏(創発カフェ主催)
- ・勝又千鶴氏(川崎の男女共同社会をすすめる会)
- ・北澤氏(グループ・ビボ)
- ・小林英子氏(川崎の男女共同社会をすすめる会)

今年度は、所属大学によっては、ジェンダー論の講義が豊富などところもあり、初日の時点で知識差やジェンダー問題への敏感さに違いが見られた。大学の授業では触れることのない、ビジネスマナー研修や働くことについて考える価値観カードのワークショップからは、非常に大きな示唆を得ている様子があった。また、9/1の総合防災訓練、ポスティングやコンサートのスタッフとしての参加など、実際に働く場での経験からも、多くの気づきがあったようだ。毎年度実施している働く人へのインタビューを行ってから記事にまとめる作業では、今年度は開館20周年記念企画とのコラボとして実施したコマもあった。市民団体での活動を20年以上続けてきた祖母世代の方々の話は、社会に対して声を挙げていくことの重要性を説くものであり、実践してきた方からの言葉には強い印象を受けたようだ。参加者同士の交流も進み、最終日が近づくに連れて、仲良くなっていく様子が観察された。



参加した学生の声

- ・セミナーのバランスが偏っておらず、バランスがよかった。女性やビジネスだけでなく、防災など多くの知識を得ることができた。
 - ・総合防災訓練という大きなイベントに参加できて、とても良い経験になりました。就活に役立つ講座ばかりで、他の学生よりも就活のスタートを早くできました。
 - ・防災訓練の運営補助やインタビュー記事の作成など、職員と同様の仕事内容を体験できた点。
 - ・職場全体が明るい雰囲気とても和やかでした。
 - ・いろいろなイベントやプログラムがあり、さまざまな視野を持つことができたこと。
- ほかにも、「就業体験の時間を増やしてほしい。もっと働きたい。」というコメントもあった。